

第14回滋賀大学環境シンポジウムチラシ
プラスチックごみ問題どう解決するのか
～今や地球規模の新しい環境問題になりつつある～

1. 基調講演 1

「海洋プラスチックごみ問題解決の為に、
世界社会生態系モデルの構築」

上原 拓郎（立命館大学政策科学部教授）

2. 基調講演 2

「生分解性プラスチックの開発」

宇山 浩（大阪大学工学部工学研究科教授）

3. 質疑応答

日時：2024年12月14日（土）13:00～17:00（受付開始 12:30）

会場：滋賀大学 大津サテライトプラザ
（JR大津駅前 日本生命大津ビル4階）

主催：滋賀大学「環境学習支援士」会

参加費無料 募集11月1日～先着順：50名なり次第締切ります

お申し込み：裏面の申込書でお申し込みください

お申し込み・問い合わせ

FAX：077-537-7821 Email：shienshikai@yahoo.co.jp

HP参照 <http://www7b.biglobe.ne.jp/~shienshi425/>

滋賀大学「環境学習支援士」会（大津市平津2-5-1 425号室）

【プログラム】 12時30分 受付開始【基調講演・話題提供者・団体紹介

13時00分～13時10分	主催者：開会のあいさつ 来賓：滋賀大学神部教授
13時10分～14時40分 10分	上原 拓郎氏 質疑応答
14時50分～15時00分	休憩
15時00分～15時45分 10分	宇山 浩氏 質疑応答
15時55分～16時25分	総合質疑とアンケート
16時25分～16時30分	閉会のあいさつ

●基調講演 1. 上原 拓郎(立命館大学政策科学部教授) 2000年中央大学総合政策研究科総合政策修士取得、同大学研究開発機構準研究員、2004年同大研究機構専任研究員。2009年米国ポートランド州立大学グラデュエイトティーチングフェロー。2011年米国ポートランド州立大学経済学修士、2012年米国ポートランド州立大学博士(Ph.D. in Systems Science: Economics)、同大学経済学部非常勤助教授。2017年仏国ヴェルサイユ・サンカンタン・アン・イヴリーヌ大学客員教授。2014年度立命館大学政策科学部准教授、2019年度 立命館大学政策科学部教授。

●基調講演 2. 宇山 浩(大阪大学工学部工学研究科教授) 1985年京都大学工学部卒業、同大学大学院工学研究科修士課程修了。1991年東北大学工学博士、同大助手。2004年から現職、大阪大学大学院工学研究科教授。1995年高分子学会 論文賞。1996年、油脂技術優秀論文賞受賞。1997年、日本化学会進歩賞受賞。2002年、生体触媒シンポジウム最優秀研究発表賞。2005年、日本農芸化学会農芸化学研究企画賞(再生可能な植物資源を基盤とする新規グリーンポリマーの開発)

【主催者紹介】滋賀大学「環境学習支援士」会 地域や学校にあって自ら先頭に立ち、適切な指導・助言を行いながら、環境教育・学習に関する実践と交流・支援を行い、県内の環境問題の解決要求に応える活動をめざしている。

【会場】滋賀大学 大津サテライトプラザ(〒520-8530) 大津市末広町1-1(JR大津駅前 日本生命大津ビル4階)TEL 077(524)3692 JR琵琶湖線 大津駅 徒歩2分

※駐車場はありません。周辺の有料駐車場をご利用ください。公共交通機関をご利用ください

参加申込書	FAX:077-563-5680 Email: shienshikai@yahoo.co.jp
	FAX・メールにて申し込まれる方は、下記項目の記載をお願い致します
お名前(フリガナ)	ご所属
連絡先(自宅)〒	
連絡先電話:	F A X Email:

TO:滋賀大学「環境学習支援士」会

*お書き頂いた情報は、シンポジウムの連絡のみ使用します。